

薬連ハイライト

年頭のご挨拶



衆議院議員・薬剤師

逢坂 誠二

新年あけましておめでとうございます。

山本信夫会長をはじめ、日本薬剤師会の皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックは、社会全体に影響を与え、厳しい状況が続いている中で、国民皆が良質な薬剤師サービスを受用できる社会を目指して日夜懸命に職務に精励され、その献身的なご尽力に心から感謝申し上げます。

世界的な物価高騰や円安により、原薬や資材なども値上がりし、後発医薬品、安定確保医薬品や基礎的医薬品までもが不採算となっている現状では、良質な医薬品の研究開発・製造・流通や安定供給を阻害し、地域における医薬品供給体制の確保が持続可能なものとはなりません。また、現在、中間年薬価改定は薬局等の事業継続を困難にさせているものと

なり、本来の趣旨、目的を踏まえた中間年薬価改定が行われるべきと考えます。

「2025年問題」を目前に、超高齢社会を支える地域包括ケアシステムの中で「かかりつけ薬剤師・薬局」など、様々な医療ニーズの拡大と多様化が求められており、薬剤師に対する社会の高い期待や時代の要請に応えるためには、マイナ保険証への対応や薬局薬剤師DXへの対応が課題です。単に業務のデジタル化や効率化を図るだけでなく、患者や社会のニーズを基に薬剤師サービスや業務モデルの変革を意味するデジタルトランスフォーメーションの活用によって、薬剤師の専門能力を最大限發揮して第三世代の薬剤師サービスを実現するためには、政治がしっかりとその役割を果たさなければなりません。

日本薬剤師会、そして薬剤師の皆様と共に山積する課題を解決していくために、私、逢坂誠二は、引き続き、国会の場で全力を尽くして参る所存です。

この一年が皆様にとりまして、良い年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和5年 年頭所感



参議院議員・薬剤師

本田 顕子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人日本薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新たな年を迎えられたことと存じます。本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は少しずつ人の往来や人が集う機会が増えてきたように感じますが、依然としてコロナ禍は続いており、マスクをつけての年越しは今年で3回目となりました。その間、会員の皆様におかれましては、処方箋調剤をはじめとする薬剤関連業務に加えて、新型コロナワクチン接種へのご協力、抗原検査キットの販売・配布及びPCR検査の実施支援等の新型コロナ対策などを通じて、全国各地にお住まいの皆様のご健康づくりや公衆衛生の向上に貢献されておりますことに敬意と感謝申し上げます。

今年こそはマスクを外して会話をしたいと思っておられるのは先生方も同様と存じますが、季節性インフルエンザの同時流行も懸念されるため、同時検査キットの供給により検査機会を確保することとなりました。限られた医療資源を有効活用し、この冬

を乗り越え春を迎えられるようにと思います。

また、処方箋の電子化に伴う体制整備等の負担も多いと思われませんが、重複投薬や併用禁忌のチェック等がより確実かつ効率的に行われ、薬剤の安全使用につながるよう、導入に向けてのご理解とご協力をお願いいたします。

新春はおかげさまで静かに迎えることができました。

昨年8月の第二次岸田改造内閣におきまして厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官を拝命し、医療・子育て等の厚生行政と新型コロナワクチン接種推進を担当させていただくこととなりました。通常国会では来年度予算案をはじめ国民生活に直結する議案が本格論議されます。大臣政務官として加藤勝信厚生労働大臣を補佐し、薬剤師の先生方の明日の環境整備につなげていけるよう努力してまいります。

結びに、会員の皆様にとりまして本年が実りある輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年にあたっての挨拶といたします。

年頭所感



参議院議員・薬剤師

神谷 政幸

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により、昨年7月に国会に送り出されていたから半年が経過しました。8月3日の初登院、その後の党本部における各種会合への出席、10月3日に招集された臨時国会における初めての国会質問等、毎日が初めての経験の連続であり、薬剤師の声を国政の場に伝えるという役割を果たすべく精一杯の努力を続けております。

思い起こすと、2年を超える私の全国訪問活動は新型コロナウイルス感染症に翻弄されたものであったと考えています。組織内候補と決定していただいた令和2年3月は緊急事態宣言が出されており、訪問活動は宣言が解除された5月25日以降となってしまいました。令和3年2月から始まった全国の支部訪問も同年1月に2度目の緊急事態宣言が発令されている中での活動でした。まさに、ウィズコロナ活

動であったと、今となっては懐かしく思い出しています。2年間の活動、そして選挙活動におきましては会員の皆様にご多大のお世話になりました。改めまして御礼を申し上げます。

さて、薬価の毎年改定、規制緩和の要求、デジタル化への対応等、薬局や薬剤師を取り巻く環境には大変厳しいものがありますが、一方でリフィル処方箋の導入等薬剤師への期待も高まっております。薬剤師が働きやすい環境整備のために尽力する覚悟です。ご支援のほどよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症も終息の兆しが見えない中で新年を迎えることになり、会員の皆様もウィズコロナ生活を強いられておられるのではないのでしょうか。

本年は卯年であり、ウサギは「家内安全」、「飛躍」、「向上」を象徴するものという捉え方もあるそうです。本年が会員の皆様にとって素晴らしい1年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たりましての挨拶とさせていただきます。

臨時評議員会において次期参議院議員通常選挙における組織内統一候補に

本田 顕子 参議院議員が決定



Facebook

本田あきこ(参議院)



Twitter @89314honda

本田あきこ

(自民党 参議院 比例代表)



E-mail Newsletter

本田あきこ
メールマガジン



honda-akiko.jp

本田あきこ
ホームページ

